



すみれ

2022年
7/24(日)

Vol.100 四国医療福祉専門学校 NEWS

学校新聞編集委員会

香川県高松市上之町2丁目12番30号

TEL: 087-867-7676 mail:hope@shikoku-if.ac.jp

◇バックナンバーはホームページ上で閲覧可能です。



LINE

instagram

公式アカウント

学校新聞発行100回にあたって 森 國夫校長先生

学校新聞の発行が100回を迎えることになりました。

本校は、平成11年(1999年)4月に介護福祉学科のみで「四国福祉専門学校」として開校し、平成16年(2004年)に医療事務学科、社会福祉学科を開設。平成22年(2010年)に臨床工学学科を開設し、それに伴って現在の「四国医療福祉専門学校」に改名し現在に至っています。

その歴史の中で学校新聞の第1回発行は、平成19年(2007年)3月でありました。

新聞発行のきっかけとなったのは、3学科が完成したにもかかわらず、まだ学校の認知度が低いと思案していた所、学生募集のために高校訪問をしていた職員が、高等学校の先生と会話する中で、学校見学会や学生募集日程などの周知だけでなく、学生の学校生活の様子を伝える新聞的なものがあったとしても良いのではないかと、ご提案を頂いたことです。

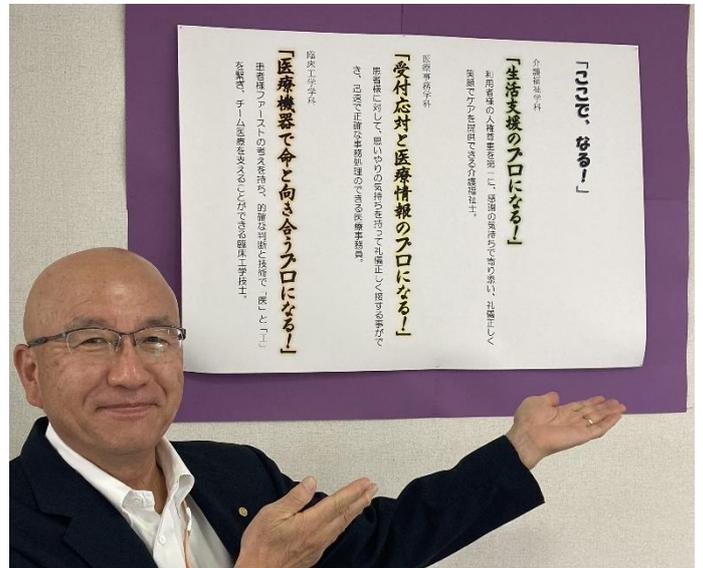
そこで、出身校の先生方、実習や就職で関係する施設の方々、あわせて保護者の方や同じ屋根の下で学ぶ学生相互の情報を提供するツールとして学校新聞「すみれ」を発行する事になりました。

当初の新聞を見返しますと、構成的には稚拙な物であったと苦笑しますが、まずは定期的に出す事を目標としており、講師の先生方や本校職員のコメントが紙面を飾りました。執筆を頂いた方それぞれがご自身の信条を綴っておられ、心に響くものでありました。私も当初は毎回巻頭の言葉を載せており、作文に苦労した事を思い出します。

その後、紙面の構成について木村先生(医療事務学科非常勤講師)にご指導を賜り、見やすい紙面へと整理をし、学生のいきいきとした様子と学校情報で紙面が飾られるようになり現在に至っています。

そして、今やSNSの時代となり、本校においてもその日その日のトピックスを広報担当職員によってオンラインで掲示しております。(是非皆さんには登録をしてご覧になって頂きたいと思います。)

オンラインによる情報と方や紙ベースでの新聞と、100号という節目にあたって、時代の移り変わりや積み重ねてきた歴史を思う今日この頃です。



第13回体育祭を開催 3年ぶりの全校イベントで学科を越えた交流も

5月27日(金)高松市総合体育館にて、第13回体育祭が開催された。コロナ渦によるイベント実施が限られていた中で実に3年ぶりの開催であり、当日に向けて実行委員会を中心に準備を進めてきた。

種目は学生からの要望が多かったソフトバレーボールで、3コートに分かれてリーグ戦を行い、各コートの1位が決勝トーナメントを行った。

学生たちはそれぞれの試合に全力で臨み、ラリーが続いたり、ファインプレーが起こったりすると、応援席から大きな拍手が送られた。決勝戦に駒を進めたのは介護福祉学科1年「Aチーム」と臨床工学学科3年「21歳~拳で~チーム」で、両チーム接戦を繰り広げ、最後は介護福祉学科1年Aチームの優勝で幕を閉じた。

試合を通して学科、学年に関わらず交流を持つ機会となり、それぞれが活躍し大いに盛り上がった体育祭となった。



和やかな中、何度も続くラリーには大きな拍手が送られた

就職ガイダンスを受講 進路意識を高める場に

介護
福祉

4月25日(月)2年生を対象に香川県福祉人材センターより三木様をお招きして、就職ガイダンスを開催した。

今後の就職活動を行うにあたり、心構えや就職活動の進め方のほか、介護現場で必要とされる人材像や在学中に取り組むべきこととお話いただいた後に、福祉人材センターへの登録方法について説明を受けた。香川県内の福祉関係の求人情報に精通している方からの貴重なお話を、学生たちは真剣な表情でメモを取りながら聴いた。



メモを取りながら講話を聴く学生たち

「丸亀お城祭り」開催 ボランティアとして参加

介護
福祉

5月3日(火)、4日(水)の2日間に渡り、丸亀城周辺にて行われた「第73回丸亀お城祭り」にボランティアスタッフとして介護福祉学科の学生たちが参加した。

当日は射的、輪投げ、ボール転がし、ストラックアウトのブースを担当し、参加者にどう接して楽しんでいただくに取り組んだ。

はじめのうちはどのように接したらよいか戸惑っていた学生たちも、次第にそれぞれが工夫し、小さな子供には目線を合わし笑顔で声かけするなど、子供から大人まで多くの人に終始笑顔で接し、充実したボランティアが体験で出来た。



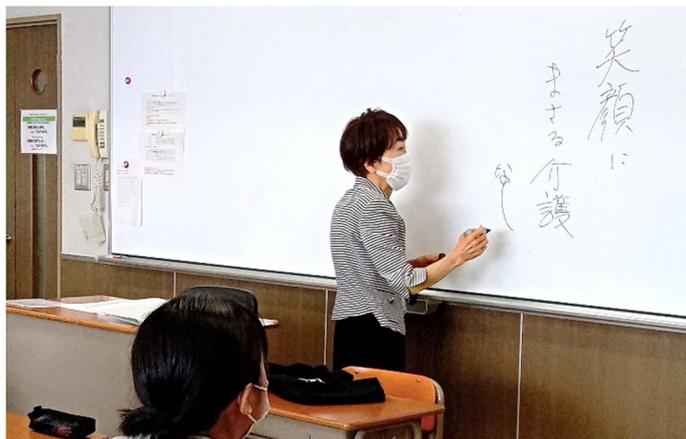
来場した子どもを支援する学生

コミュニケーション技術 挨拶、言葉遣いへの理解を深める

介護
福祉

5月26日(木)本校医療事務学科の非常勤講師 荒井 孝子先生による「コミュニケーション技術」をテーマにした学科間連携授業を1年生に対し実施した。

これは将来介護福祉士として、気持ちの良いコミュニケーションを図る為の技術や必要なマナーについて学ぶものである。学生たちは挨拶をする意味や声の出し方、目線、お辞儀の角度などについて実技を交えて学び、挨拶や言葉遣いの大切さへの理解を深めることが出来た。



笑顔の大切さを伝える荒井先生

福祉分野の出前授業を実施 卒業生からも貴重な体験談

介護
福祉

6月15日(水)、22日(水)の2日間にわたり、香川県立石田高等学校 生活デザイン科3年生の方を対象とした福祉分野の出前授業を行った。

介護現場で勤務している本校介護福祉学科の卒業生2名もかけつけ、車椅子操作や身体に負担がかからない介護技術の実践が行われた。授業の最後には卒業生から「日々、自分が必要とされていることが実感出来る仕事です」など介護職の魅力が語られ、出前授業を終えた。



卒業生も交えて、実技を中心とした授業が行われた

卒業生ガイダンスを実施 先輩からの貴重な助言とは

医療
事務

5月19日(木)、24日(火)、25日(水)の3日間にわたり、2年生を対象とした卒業生による就職ガイダンスを開催し、西口 葵さん(歯科医院勤務)、小松原 歩優さん(調剤薬局勤務)、植松 若菜さん(医科クリニック勤務)の3名に来校いただいた。

3名の卒業生は、業務内容、社会人としての心構え、仕事のやりがいに加えて、今年4月から新たに導入されたリフィル処方箋(最大3回までは繰り返し使用出来る処方箋)など、医療事務スタッフの業務に関連する新制度などについても説明された。その後、学生から寄せられた「社会人1年目に心掛けたこと」、「患者様への対応で気を付けていること」など、質問にも回答していただいた。

学生たちはこれから就職活動に取り組むにあたり、卒業生からの貴重なアドバイスに熱心に耳を傾けていた。



卒業生(左から4人目)と写真に納まる在校生

基本的な医学知識を学ぼう 国民病といわれる「糖尿病」とは

医療
事務

6月20日(月)2年生を対象とした臨床工学学科教員による学科間連携授業を実施した。

今回のテーマは国民病とも言える糖尿病。医療機関を受診する患者様も多いことから、チーム医療を支える一員である医療事務スタッフとして、病気を患う原因や症状などの基本的な理解を深めることを目的に実施された。

講義では合併症の1つである糖尿病性腎症による人工透析治療の概略を学び、治療方法、生活上の注意点、患者目線による透析治療の様子などが収められた動画を視聴した。

その後、実際の治療に用いられる人工透析装置を用いながら、病気に関する理解を深めた。



実際の医療機器を用いながら説明が行われた

歯科アシスタント講習を実施 歯科助手の役割と技術を学ぶ

医療
事務

6月22日(水)2年生を対象に香川県歯科医療専門学校(高松市)の衛生士科より池田 真弓先生と伊達 早苗先生をお招きし、歯科医院における歯科アシスタントの役割と歯科治療器材を学ぶ特別講義を実施した。

まず歯科医院での医療事務スタッフとしての業務内容、診療室で求められる基礎知識、口腔の役割について学んだ後、歯科材料を使用した診療補助体験として、印象を練って型を取る練習、セメントを練る練習を行った。

次に、口の中の健康の大切さを、学生にも考えてもらう目的で、口腔乾燥症(ドライマウス)の症状や予防方法についても説明いただき、最後に学生たちの口腔内の水分量を計測した。

今回の講義は実践的な内容が多く、特に歯科医院への就職を希望する学生たちには、貴重な時間となった。



歯科アシスタント業務を実践的に学んだ



オンラインで病院説明を受ける学生たち

オンライン病院見学を実施 実際の臨床現場を初めて体感

臨床
工学

6月24日(金)1年生が高松市立みんなの病院をオンライン見学し、臨床工学技士の皆様に仕事内容を中心に紹介していただいた。

この病院見学は1年生を対象に仕事内容、やりがい、厳しさを現場の方に語っていただき、臨床工学技士への理解を深めることを目的に毎年実施している。

今回の病院見学では、臨床工学技士としての心構え、患者様との接し方で気を配っていること、新型コロナウイルス感染症の治療に関わる設備や医療機器に関することなど、具体的なお話をいただいた。

学生たちは見学を通して、自らの職業観をより明確にすることが出来た。

香川県臨床工学技士会会長が来校 臨床実習前の貴重な講演会

臨床
工学

7月7日(木)香川県臨床工学技士会会長(香川大学医学部附属病院 ME 機器管理センター副センター長/臨床工学技士長)である光家 努先生をお招きして、3年生を対象とした講演会を開催した。

これまでのご経歴や現在の仕事内容を説明いただく中で、「さまざまなチャンスは平等に存在するが、そのチャンスがやってきた時には、すぐに手が挙げられるように、日頃から準備をしておくことが重要」とお話された。

また、まもなく始まる臨床実習においては、「毎日、さまざまなことを経験する中で、すべてを実習日誌に記載するのではなく、何か一つでも構わないので、その日に印象深かったことを詳しく書いてみて欲しい。また緊張もすると思うが、初めての実習を通じて、臨床工学技士の仕事の魅力を感じて欲しい」と熱意を持って語られた。

会長というお立場ではありながらも、あくまでも学生たちと同じ立ち位置で、共に臨床工学技士への理解を広げ、発展させていこうと語りかけていただいた今回の講演は、今後の臨床実習中はもちろん、臨床工学技士として臨床現場で活躍していく中でも、思い起こされるような内容であった。



自らの体験談を交えながら講演する光家先生

今後の主な行事予定

- 7月28日(木) 介護実習Ⅳ事後指導(介護福祉)
- 31日(日) 歯科助手受付秘書講習会(医療事務)
- 8月 1日(月) 前期試験開始(介護福祉・臨床工学)(~5日)
- 5日(金) 福祉の職場説明会(介護福祉)
- 6日(土) オープンキャンパス
- 18日(木) 介護実習Ⅰ事前指導(介護福祉)
- 19日(金) 介護実習Ⅰ開始(介護福祉)(~9/4日)
- 21日(日) 歯科助手受付秘書講習会(医療事務)
- 28日(日) オープンキャンパス
- 29日(月) 再試験(介護福祉)(~31日)
- 9月 1日(木) 専願1次入学選考 出願受付開始(~21日)
- 4日(日) 歯科助手受付秘書講習会(医療事務)
第2種 ME 技術実力検定試験(臨床工学)
- 5日(月) 介護実習Ⅰ事後指導(介護福祉)
- 6日(火) 再試験(臨床工学)
- 9日(金) 電卓技能検定試験(医療事務)
- 11日(日) オープンキャンパス
- 17日(土) 介護に関する入門的研修(19日、25日)
- 24日(土) 専願1次入学選考
- 27日(火) 再試験(介護福祉学科)(~30日)